

2010年12月度研究交流例会開催の件

12月度研究交流例会を下記の要領により開催いたします故、是非ご参加ください。

今回は監査研究部会部会長の山脇徹氏と、日本学術振興会特別研究員の高田一樹氏による報告を予定しております。

記

1) 日 時 平成22年12月18日(土) 午後14時より午後17時

2) 場 所 経営倫理実践研究センター セミナー室 地図参照→[クリック](#)

3) テーマおよび報告者

①14時00分～15時20分：「企業不祥事防止の歴史的対応と監査役のあり方」

山脇 徹 氏 (当学会理事・監査研究部会部会長)

②15時30分～16時50分：「立てた問いに自ら応じる——博士論文の執筆を通じて得たものごと」

高田 一樹 氏 (日本学術振興会特別研究員 (PD))

報告骨子：

*報告① この30年間、企業の不祥事は止むことがなく、その法的対応等も相当に取られて来たが、その効果はなかなか挙がっていないのが、実情であります。しかし、最近10年間の対応の動きは素早く、

かつ、厳しいものになっており、企業はそれらへの対応を的確に、早急に行って企業不祥事防止

の効果を

上げることが求められています。そのために、監査役は従来に増して、

取締役会と取締役の業務執行状況に対する監督機能の十全なる発揮を求められており、

その的確な対応が期待されています

***報告②** 2010年3月に立命館大学大学院先端総合学術研究科を修了。博士学位を取得する

までの院生生活と、

学位論文の概要について報告いたします。

4) 参加費 正会員：2,000円 学生：1,000円（当日、例会会場にて申し受けます）

5) その他 ご出欠の確認を致したく、

参加申込用紙に必要事項をご記入の上12月15日(水)迄に Fax

にてご返信ください。E-mailによる出欠ご連絡でもOKです。

以上